

※事務局記入欄 No. A-54	【様式2】
---------------------	-------

図1 竹早地区の研究組織

図2 昨年度までの汎用的な力

協同・協働する	知識を活用する	対象について考える	主体性
・コミュニケーション力 ・共感力 ・表現する力 ・聴く力 ・受容する力	・既習の知識及び技能を活用する力 ・創造する力 ・適切な情報を収集する力	・先を見通す力 ・多面的に見る力 ・観察力 ・論理的に考える力 ・抽象度をあげる力 ・想像する力 ・批判的に考える力 ・読解力	・主体的に関わる ・取り組み方 ・探究心 ・新しい性質を発見しようとする姿勢 ・興味関心と意欲 ・自分事として考える力 ・自分の考えをもつ力

図3 CCRの枠組みから再整理した汎用的な力とその内容

図4 汎用的な力に関わる手立て（一部）

枠組み	教科領域	手立て
知識	人間	具体と抽象の橋渡し（抽象的な考えたことの具体での実感）
批判的に考える	国語	複数の視点から描かれる教材の使用
批判的に考える	社会	技術支援に関わった方からのフィードバックの実施
批判的に考える	社会	写真、映像資料の活用
批判的に考える	算数	構成活動を多く取り入れる
批判的に考える	人間	対立構造の可視化をさせる
批判的に考える	音楽	音遣びや、音色やリズムの重ね方にこだわりをもつ
批判的に考える	美術	生活世界を新たな視点で見直す機会の設定
批判的に考える	人間	モラル・ジェンマ
批判的に考える	数学	図をかく
創造する	国語	視点ごとに区切って教材を提示する
創造する	社会	子どもにとって身近な「水」の問題を含む事例の提示
創造する	数学	証明の概観を問い、明らかにする
創造する	数学	模型をつくる
創造する	美術	表現活動と鑑賞活動の有機的なつながりを生み出す
コミュニケーション	社会	ODAのあり方を考えるパネルディスカッション

図5 テキストマイニングから「10の教師の関わり」を分析（一部）

図6 テキストマイニングによる子どもの発達段階と教師の関わりとの傾向と分析結果（一部）

実践	実践	関係	対応	受容	共有	既習	自分	時間	目線	将来
幼稚園		3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	0.0%
小12		3.6%	5.4%	5.4%	0.0%	0.0%	3.6%	5.4%	5.4%	0.0%
小34		1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	4.5%	0.0%	1.5%	4.5%	0.0%
小56		2.1%	0.0%	0.0%	4.3%	6.4%	2.1%	0.0%	6.4%	2.1%
中1		小56では、低中学年の[既習]を生かすことと クラスの実態に応じた[実践]計画が 授業づくりの土台となっている。							2.1%	0.0%
中23									5.6%	1.9%